

「SF Made」から見た地元製造業の振興活動について

平成24年11月10日
 サンフランシスコ産業情報センター
 駐在員 佐藤 賢児

今月6日に実施された大統領選挙で、再選を果たしたオバマ大統領は、選挙キャンペーン中に“2016年までに製造業で100万人の雇用創出を目指す”ことを公約として掲げるなど、米国では、製造業の国内回帰の気運が高まっていますが、サンフランシスコにおいては、「SF Made」というNPOによる地元製造業の振興活動が注目を集めています。

今回は、この「SF Made」の活動を基に、大都市圏における地元製造業の振興活動について報告します。

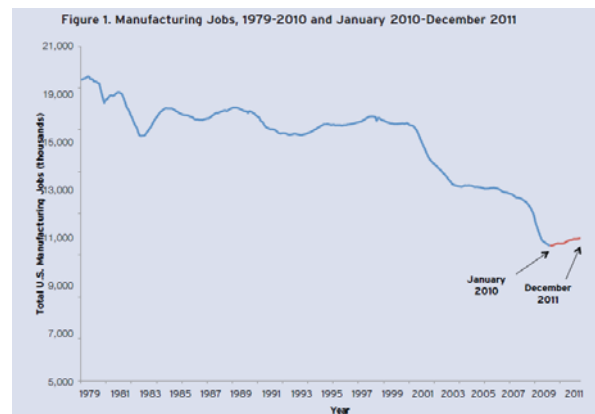
【米国製造業の雇用状況】

初めに、米国シンクタンクのブルッキングス研究所のレポートから、過去30年間に於ける米国製造業の雇用者数について見てみると、2010年1月時点の製造業の雇用者数は約1,150万人であり、国内産業の雇用数全体の8.5%を占めています。

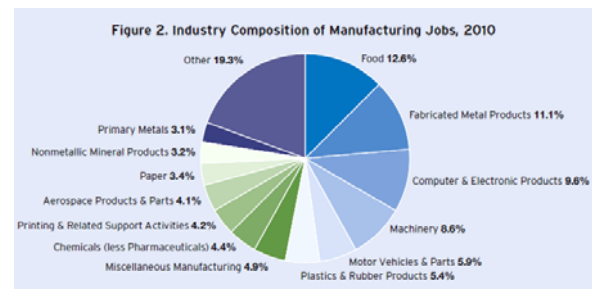
ピークだった1979年の約1,940万人からは40.7%も減少していますが、2010年初頭からは少しずつ増加傾向が見られ、ギリシアの経済危機の影響からの回復に過ぎないという見方もありますが、最近の石油・天然ガスの生産増加による機械関連の雇用増を始め、長期的な上昇傾向の始まりであると考えられています。

次に、米国製造業の雇用数を業種別に見てみると、多い順に食品、金属製品、コンピューター・電子製品、機械、自動車・部品、プラスチック・ゴム製品という構成になっており、製造業全体の1/3以上がハイテク関連の製造業に従事しています。

そして、都市圏別に製造業の雇用者数を比較すると、右図のような状況になっており、近年、ハイテク企業の進出が目立つサンフランシスコ圏は、他の大都市圏と比べると然程多くない状況です。また、製造業を含む全産業の雇用者の85.2%が、これら都市圏で働いているのに対し、製造業は79.5%とやや低くなっています。



出典：Bureau of Labor Statistics Current Employment Statistics Program



出典：Brookings Institution

	都市圏	雇用者数
1	ロサンゼルス	524,671
2	シカゴ	403,605
3	ニューヨーク	367,721
4	ダラス	249,436
5	ヒューストン	217,527
6	デトロイト	187,821
7	フィラデルフィア	187,191
8	ボストン	178,611
9	ミネアポリス	172,343
10	シアトル	166,985
	⋮	
14	サンフランシスコ	116,097

Brookings Institution レポートを基に作成

【地元製造業をサポートする SF Made】

このような中、サンフランシスコ固有の土地柄、文化、歴史を見つめ直し、製品を作ることから生まれる「地元への誇り」を大切にすべきだという考えから、「SF Made」という NPO (非営利法人) が、2010 年にサンフランシスコ市内で設立されました。

SF Made は、地元の製造業を発展させることにより、サンフランシスコの強固な経済基盤を構築することに焦点を当てた組織です。地元で製品を製造する企業を支援、起業家精神やイノベーションを奨励し、様々な雇用の機会を創出することにより、サンフランシスコの製造業を振興し、サポートすることを目指しています。



SF Made のロゴ マーク

SF Made の創設者は、サンフランシスコのメッセンジャーバッグ製造企業「Timbebuck2 Designs」の元 CEO であったマーク・ドゥワイト氏で、13 人の役員と 5 人のボランティアスタッフで運営されています。

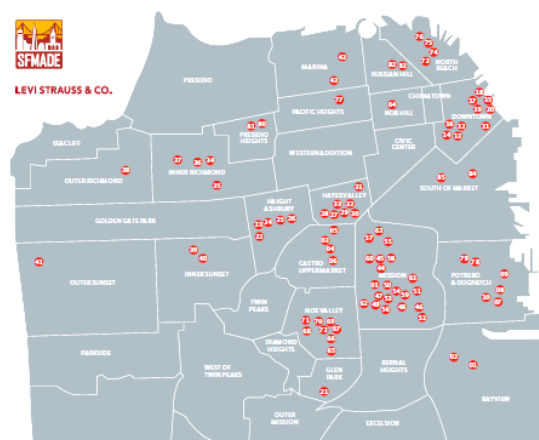
会員になるための基準は、

- ①サンフランシスコに本社を置くか、又はサンフランシスコで登録された事業許可を保有していること。
 - ②デジタル製品やサービスではなく、実際に製品を設計・製造すること。
 - ③1 つ以上の製品をサンフランシスコ内で製造すること。
 - ④フルタイムの従業員が 1 名以上いること。
 - ⑤消費者向け製品の場合は、1 つ又は複数の製品を小売店又はオンラインで販売すること。
- などがあり、上記の条件を満たしていればどの企業も無料で会員になることができます。

SF Made は、サンフランシスコの市民向けには、製品・ブランドの認知度向上や製造業の重要性を市民に訴えるなどを目的とした普及啓発イベントを実施し、ビジネス向けの活動としては、製造業者又はこれから製造業を始めようと考えている人に対し、経営にかかわるノウハウ・知識の提供や、ワークショップを通じた教育活動、他企業・団体とのネットワーク作り、専門的な知識を持つ企業の紹介などのビジネスサポート活動を実施しています。

そして、上記の活動以外にも、チャリティイベントや会員企業の工場見学会の開催や、会員企業への 1 年間のビジネス・コンサルティングプログラムの実施 (有料)、従業員確保のための紹介サービスの提供なども行っています。

これらの活動により、SF Made の活動に賛同する企業・市民が増加し、SF Made を設立した 2010 年には会員企業が 105 社でしたが、現在の会員企業は 400 社以上で、4,000 人以上の新規雇用の創出効果があったそうです。



サンフランシスコ市内の主な会員企業
出典：SF Made ウェブページより

【会員企業の具体例】

会員企業の主な業種としては、多い順にアパレル、ジュエリー・アクセサリー、食品・飲料、契約製造業、印刷・メディア、家庭菜園、家具、子供服・妊婦服等で、全体の約30%の企業が創業後3年以内の企業だそうです。

サンフランシスコ市内で実際に事業活動を行っている SF Made の会員企業をいくつかご紹介すると、

(TCHO)

2005年に設立されたチョコレート製造・販売会社で、原材料のカカオ豆を直接輸入するだけでなく、より良いカカオ豆を求め農園にも投資し、生産過程もサポートしています。



そして、毎日2回、無料の工場見学ツアーの実施により、自社の認知度向上及びチョコレート好きな消費者の啓発や、その他にも、ウェブページ上で商品に対する顧客からの意見を取り入れることによる新たな味の開発、スマートフォンで工場を遠隔操作できるアプリを開発し、それまで生産工程を監視するために工場に常駐していた人員を減らす工夫などの取組を行っています。

(Mission Bicycle)

2008年に設立された自転車専門店、サドルやタイヤなど各種部品の形や色を選び、自分だけの自転車をカスタマイズできます。品質にもこだわりを持ち、生涯使える自転車としてサンフランシスコ市内で製造しています。



(Timbuk2 Designs)

1989年に元自転車メッセンジャーによって設立されたメッセンジャーバッグ専門店です。商品はカスタマイズ可能で、機械ではなく、全て職人の手によってサンフランシスコ市内で縫製されています。日頃、サンフランシスコの街中で、このメーカーのロゴの入ったバッグを非常によく見かます。



【全米主要都市をつなぐUrban Manufacturing Alliance】

SF Madeのような活動は、米国内の主要都市においても広がりを見せています。昨年6月には、ニューヨークのPratt Centerと共同で「都市製造業連盟 (Urban Manufacturing Alliance)」という新組織が設立されました。

この組織は、他都市への展開に関心がある製造業の企業を対象とし、都市圏における製造業を発展・推進させるための政策の連邦政府への働きかけや、アメリカ全土の都市に点在する製造業企業が情報交換をできる交流・コミュニケーションの場を提供することなどを目的としています。

都市製造業連盟の設立後は、SF MadeとニューヨークのPratt Center以外にも、アトランタ、バルチモア、ボストン、シカゴ、クリーブランド、ロサンゼルス、メンフィス、オーランド、フィラデルフィア、ポートランドの10都市の企業が参加しています。

また、この組織は、米国経済を発展させるための解決策を提起することを目的とした、クリントン元大統領が主催する「Clinton Global Initiative Conference」という会議において設立を発表し承認されましたが、このことにより、米国内だけではなく、国外にもメディアを通して報道されたため、同時にSF Madeも広く認識されるきっかけとなりました。

SF Madeは、設立後2年が経過したばかりですが、市民が参加したくなるようなお祭り感覚のイベントの開催や、製造業の重要性を訴える啓発活動など消費者重視の姿勢、ウェブや最新テクノロジーの有効活用、会員企業同士や他都市の製造業企業との協力関係の構築を通じて事業効率化を図るネットワーク活動の推進など、様々な工夫を凝らし、大都市圏における地元製造業を振興するための示唆に富んだ取組を行っていますので、今後も、SF Madeの活動の動向にも注目していきたいと思えます。